

神奈川県跆拳道選手権大会 競技ルール

組手 主審1人・副審2人、計3人制を導入。
すべてのクラス共に、一斉に旗をあげ、旗2本以上で勝利。
延長戦は1回のみ。

競技方法 ポイント制…(ライトコンタクト)によるフリースパーリング方式。

ポイント	1ポイント	足による中段への攻撃 手による上段、中段への攻撃(直突きのみ、上段突きは中学生の部 以上)
	2ポイント	足による上段への攻撃 跳んで手による上段への攻撃(直突きのみ、上段突きは中学生の部 以上) 跳んで足による中段への攻撃
	3ポイント	跳んで足による上段への攻撃
反則	注意・減点	帯より下部の攻撃(下段への攻撃)。背中、後頭部への攻撃 肘、膝、貫手、手刀、背刀、振り向いて裏拳(バックハンドブロー)、頭突き攻撃
	失格	相手や審判への侮辱、アナウンスをされてもコートへ上がらない場合 防具を外すなど試合を放棄する態度、泣き止まないなど平常心を失った時
追加事項	①安全上 体重がクリアなされない場合は失格。オーバーが500g以内:全試合 減点2から開始。 ②ライトコンタクト制を導入。但し、ノーガード及びカウンター攻撃によるK.O.は反則とはならず、ポイントとして加算される場合もある。 ③一方の選手が試合続行不可能な場合、主審の判断によりその場で試合は終了。審判の旗による判定を行う。 ④突きにおいて、打ち抜きは禁止。打ち手を戻してポイントとする。 ⑤直突き(ストレート)のみ。フック・アッパー・バックハンド等は認めない。 ⑥未就学児の肩タッチ組手は、軍手を着用し肩へのタッチをする。ポイントが入り次第、試合を一時止めてポイントの確認をする。	

☆ その他、全て主審の判断に一任する。

競技区分

区分け	ルール	防具(ITF指定)	競技時間		
			本戦	延長戦	決勝戦
一般の部	ITFルール	手・足・面 防具着用	2分	1分	1R
中学生の部	ITFルール	手・足・面 防具着用	1分30秒	1分	1R
小学生の部	顔面突きなし	手・足・面 防具着用	1分	1分	1R
未就学児の部	肩タッチのみ	軍手着用	1分30秒	1分	1R

☆ 本戦と延長の間 休憩なし。手足防具(男子はファールカップ)は各自、面防具は主催者にて用意

☆ マウスピース:中学生以上は顔への突きが認められるので、必ず付ける事(小学生も望ましい)。

型 主審1人・副審2人、計3人制を導入。一斉に旗をあげ、旗2本以上で勝利。
決勝まで自由のみ、決勝は自由の型を2つ行なう(同じ型は不可)。

①呼吸(気合い)、②力、③リズム、④正確性、⑤サインウェーブ 5つの項目で競技をする。

☆ 判定は一斉に旗をあげ、旗2本以上で勝利。

☆ 全ての試合、自由の型(好きな型)を選手が選び演技する。決勝は2つ(同じ型は不可)。

☆ 型の間違い=負けではありません→上記④正確性で減点。間違えても諦めず続けて下さい。

トーナメント 7名以下:3位1名(8名以上:3位2名)

I部 6名の場合:総当たり × 総当たり

I部 5名以下:総当たり戦 (II部 3名以下は、総当たり戦)